

# ◆シリーズ◆ 菊池一族の遺産

問い合わせ先 菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

## 「菊池一族の街」①

今月から3回にわたって、市内に遺された菊池一族の史跡について紹介します。

### 菊池一族の墓

市内には、歴代の当主や一族に名を連ねる人々の墓が20力所に点在しています。ひと口に「墓」と言っても、時代ごとにさまざまな形や特徴があります。今回は一族の墓の特徴として代表的なものを紹介します。

### 五輪塔

平安時代中期から使われている墓の様式で、古代インドにおいて宇宙の構成要因とされた地輪・水輪・火輪・風輪・空輪と呼ばれる石材を積み上げています。墓主が判明できる墓で最も古のものは菊池寛勝(12代武時の義弟

／巨)の墓で、ほかに7代隆定(下水次)や、22代能運(東正観寺)の墓などがあります。



菊池寛勝の墓

### 宝篋印塔

宝篋印塔とは、宝篋印陀羅尼經というお経を収めた石塔のことで、鎌倉時代から墓や供養塔として広まっています。主な墓としては16代武政(正観寺)、20代為邦・21代重朝(玉祥寺)のものがありません。



16代武政の墓

### 亀趺

亀蛇の背の上に墓碑が乗る「亀ふ」は、元々中国で「貴人の墓」とされていた様式です。江戸時代に水戸光圀によって造られた南朝方の英雄・楠木正成の墓がこの様式だったことから、同じく南朝方の功労者である15代武光の墓(西正観寺)も亀趺で造られました。その後13代武重(巨)、17代武朝(金峯)、23代政隆(久米)の墓が造られています。県内で亀趺の墓が確認されているのは菊池市のみで、全て市の指定文化財になっています。

## ◆絵画連作◆ 幻の都 城下町菊池

絵・文 / 橋本以蔵

### 第一章 武光公の築いた絢爛たる都



#### 其の10 隈府の松囃子能場

松囃子能は正月2日に御殿で催されていましたが、ある年戦のために武光公が不在となり、凱旋された後の7月15日に演じられました。以降、7月15日が演舞の日となり、それを機に場内から興業の場が移されたようです。左が高野瀬村、右が正観寺村という両村の間に能場があったと言います。



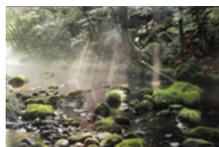
15代武光の墓

## わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

### 第4回菊池の写真愛好家4人展

四季折々の写真を展示します。皆さまのご来館をお待ちしております。  
期間 4月14日(火)~5月6日(水)(振休)



開館時間 午前9時~午後5時  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

## 菊池観光協会

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

### 菊池市ふるさと創生市民広場を活用しませんか。

芝生広場や足湯、遊具のほか、雨天でもイベントができる大屋根広場があります。菊池観光交流館では各種展示も可能。広場を活用したい人はお問い合わせください。

開館時間 午前9時~午後6時  
休館日 第4火曜日(点検などで臨時休館する場合あり)

## ◆シリーズ◆ 交流の絆 ①

申し込み・問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

### 菊池都市間交流の会で一緒に活動しませんか

本市では、宮崎県西米良村、岩手県遠野市、鹿児島県龍郷町と姉妹・友好都市の締結をしています。菊池都市間交流の会では、3都市との市民交流を目的として、市民交流団の派遣や受け入れを行うなど交流を続けています。

交流以外にも地元の文化や歴史を学ぶ楽習大学を開催し、自分たちのまちや周辺自治体についても勉強しています。市とつながりのある地域と交流することで、改めて菊池の魅力に気づくこともあります。一緒に活動しませんか。入会の申し込みは随時受け付けています。



【年会費】2,000円

前回の楽習大学では、菊池一族を学ぶため福岡県小郡市などを訪れました